

平成28年度 学校評価報告書

平成29年2月22日
宮城県伊具高等学校

1 本年度の重点目標

生徒一人ひとりの希望進路を100%達成するために (1) 基本的な生活マナーを身に付けさせる。 (2) 基礎学力を身に付けさせる。 (3) 勤労観・職業観を養うキャリア教育を推進する。 (4) 学校行事・部活動・地域連携活動の活性化を推進する。
--

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係評価者	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
教務部	1 学ぶ意欲を引き出し、学力が身に付けられるような授業が行われていますか。	A	「わかる授業の研究・指導」を心がけ、学習意欲を高め、基礎学力の向上を図る。また学習意欲を高める為の教材研究に努める。	A	A
	8 地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりは行われていますか。	B	各系列での学習活動を生かし、地域人材を活用したり地域のイベントに積極的に参加しながら特色ある学校づくりに努める。	A	A
	14 あなたは本校の教育目標・系列目標を知っていますか。	A	各教科のオリエンテーションで周知徹底を図る。また、PTA総会で学校からの説明を行う。	A	A
	15 教科の学習方法や学習計画、評価方法について理解していますか。	A	年度当初のシラバス配布と各教科のオリエンテーションで説明する。	A	A
	16 選択教科を決めるときに十分な説明を受けて選ぶことができましたか。	A	科目ガイダンスで十分な説明に心がける。今後はシラバスの活用をより充実させる。	A	A
学校関係者評価者による意見	(1)教育活動がおおよそ理解されており、勉強に対する意識が高いことがわかる。(2)各系列での学習活動を生かした地域イベント参加に力を入れて欲しい。(5)中学校の延長の意識や向学心旺盛な生徒や様々でご苦労でしょうが、それに合った指導を今後共宜しく。				

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係評価者	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
生徒指導部	2 あいさつやマナーなどの基本的な生活習慣に関する指導が行われていますか。	A	生徒が自ら挨拶できるような学校全体の雰囲気になってきている。さらにマナーなども徹底したい。	A	A
	5 部活動は活発に行われていますか。	C	部活動でめざましい成果をあげた部活もあるが、部活動をしない生徒も増えている。さらに生徒が数多く部活に取り組める環境を目指す。	B	B
	6 生徒会活動は活発に行われていますか。	B	各行事について教員がしっかり準備も含めて指導できるよう業務分担と環境を整備し実施できた。さらに対外的な取り組みも行い、活性化をはかる。	B	A
	7 有意義な学校行事はあるか。	A	体育祭や文化祭は、今年度生徒の積極的取り組みがあり大成功であった。生徒会行事も目的・意義を伝え理解させながら実施できた。今後もこの雰囲気を維持する体制をつくる。	A	B
	12 学校は日頃からいじめの早期発見に取り組んでいますか。	B	校内のいじめに対する取り組みの体制が整っているが、家庭への情報提供の手段がまだ不足している。さらに工夫したい。	B	B
	13 学校生活は充実していますか。	B	生徒が学習活動、部活動で自分が活躍できる実感を持てる環境作りを進めたい。	B	B
	17 あなたは「校則」を十分に理解していますか。	A	全体の理解度は高くなっている。さらにLHRや生活の手引きなどを活用し周知していく。	A	B
学校関係者評価者による意見	(1)個性の違いに中があると思うので指導は難しいと思う。いじめの問題は社会的に注目されているので、評価がAになるようになればよい。(2)以前よりあいさつをする生徒が少なくなっている。もっと力を入れて欲しい。(4)いじめの早期発見に関して保護者と教員との評価割合に差がある。(5)卒業後は一社会人扱いなので、卒業式、入学式での挨拶(返事)を徹底指導されたい。				

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係評価者	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
進路指導部	3 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われていますか。	A	今後も生徒が明確に進路目標を設定でき、進路を選択・決定できるよう、生徒の実態をよく把握し改善を重ねながら、効果的な指導方法を考えめていきたい。	A	A
	18 あなたは進路に関わる情報提供を十分に受けていますか。	B	進路通信をはじめ、進路室の資料・情報や進路学習会の充実・改善に努め、生徒・保護者が進路選択にあたって判断を行う際に十分な情報を提供できるよう対応していきたい。	A	A
	19 あなたは進路指導を受けて、自分の将来について真剣に考え行動できるようになりましたか。	B	生徒に各種の進路行事の目的や到達目標を理解させる活動にも重点をおき、生徒の実態に合わせて内容を改善し、進路実現に向けて主体的に行動できるよう取り組ませていきたい。	A	A
学校関係者評価者による意見	(1)結果として求められる目標なので、真剣に取り組んでいることがわかる。(2)生徒、保護者が進路選択にあたり、判断、実現に向けての情報提供をしっかり行って欲しい。(4)3つの項目で教員と生徒の評価割合に差がある。(5)今後共、就職100%を継続して下さい。				

評価分野	評価項目		自己評価		学校関係評価者	
			自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
総務部	9	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられていますか。	A	引き続きホームページや緊急掲示板を活用し、避難方法や連絡方法を伝えていきたい。また、一斉メールの活用も続けていきたい。年に数回、ホームページ上の緊急掲示板のURLの送信も行いたい。	A	A
	10	学校便りなどによって学校の情報は適切に伝えられていますか。	A	WEB上での発信を続け、情報が家庭に確実に伝わるように定着をはかりたい。	A	A
	21	授業や休み時間に図書館を有効に活用していますか。	B	前年度まで来館していた生徒が来なくなりました。図書委員からの呼びかけがあまり出来なかった。来年度は図書館だより、各クラス用の掲示物、図書委員からの呼びかけを充実させたい。また、読書週間や読書履歴を活用したい。	B	B

学校関係者評価者による意見

(1)学校生活が安全に送られていることがわかる。学校の情報は、学校だより等を読んだという声が町内の多くの人から聞こえている。(2)来館しやすい図書館にし、多くの本を読んだ生徒に対する表彰を充実させて欲しい。(4)21の項目で図書館の利用について再検討の必要があるのでは。(5)学校の図書のみならず、まちづくりセンターの図書も利用するようPRして下さい(年中無休です)。

評価分野	評価項目		自己評価		学校関係評価者	
			自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
保健厚生部	4	教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じる体制ができていますか。	B	生徒・保護者に対するPRを強化。PTA総会・全校集会においてカウンセラーの紹介を行うとともに、カウンセリング便りの発行や利用日の一覧の掲示を増やし利用の仕方を周知する。	B	A
	20	学校生活では、あなたは安全や健康に十分に配慮されていますか。	A	怪我や事故の防止に関して、生徒部と協力し指導を行っていく。また、検診等の行事や保健便りでの呼びかけ、保健委員会と連携した活動をとおして健康に関する意識を高めたい。	A	A

学校関係者評価者による意見

(1)保厚部の受入れ態勢が確立されていることがわかる。(2)生徒からの相談、安全、健康については、体制及び対応をしっかりと欲しい。(4)20の項目で教員と保護者との極端な見解の相違について。(5)安全は優先、交通マナーの徹底、いじめは小さな段階で対処を。

評価分野	評価項目		自己評価		学校関係評価者	
			自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
事務部	11	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されていますか。	B	現状施設の維持を基本としているが、将来構想と連動した管理を進める。また、過去の学科啓編に伴い稼働していない施設・設備の維持管理の必要がある。	A	B

学校関係者評価者による意見

(1)予算があれば解決できることだと思うので、計画的に予算申請しながら整備されれば良いと思う。(2)稼働していない施設・設備の有効活用はできないものか?(5)野球部員2名は偉い頑張りです。遊休地は適正に処理(処分)して欲しい。

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
5 部活動の活性化	より一層、生徒が数多く部活動に取り組める環境づくりを推進する。
12 いじめの早期発見に関する取り組み	校内のいじめに対する取り組み体制は整っているが、家庭との情報提供等、連携のための取り組みを改善したい。
21 図書館の有効活用	図書館だよりや各クラス用の掲示物、図書委員からの呼びかけを充実させるとともに、読書週間や読書履歴を活用したい。